

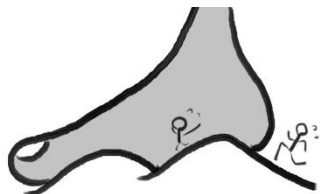
仏様は偏平足？
そくげあんびょうりゅうそう

① 足下安平立相

足の下が平たく立ち安心できる相
：吾輩訳し方が下手である。つまるところ偏平足ということです。

しかし何故、偏平足が安心できる相なのか。それは、古来インドでは、尊者の足にひざまづき、頭をつけることが最も丁重な敬い方でした。土踏まずがあつたらさわれない人も出て来るかもしれません。だから、仏様の足は、地面にすべてがついている偏平足で表されたのです。

しかもただの偏平足ではありません。地面には山もあれば谷もある。仏様の足は、どんな地形にも密着するようにできています。



人生山あり谷あり。しかし、どんなときにも一緒にいるよと仏様の平等のこころの表れが、足下安平立相です。



仏様の

三十二相

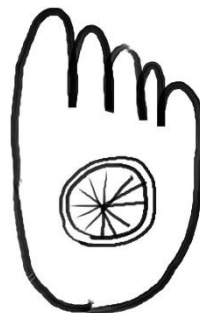
今月からの新コーナー。かほりはります！
若住身

仏様には32の特徴があります。仏様のやさしさを少しずつご紹介です。

迷いを打ち砕く！

そくげせんぶくりんりゅうそう

② 足下千幅輪立相



仏様の足の底には、千幅輪せんぶくりんと云って、千の筋（スポーク）をもつ車輪の模様があります。

これは仏様の法の力を譬えています。三六〇度すべてにわたり、怒り・欲・愚かさを打ち砕き、いかなる障害をも乗り越える力強い車輪です。

さらには、千のスポークからは光を放ち、あらゆるものを暖かく照らします。

我がこころは、曇りがちな時、雨の時、雷にうたれるような衝撃的な時、また稻妻のごとく怒りにつつまれるときもありますが、仏の法輪はそれを打ち砕き、我が身をその光でつつみます。力強い親ごころです。

